



知りたいとこだけ！

Photoshop 講座

写真修正編

第 6 章 写真の修整

第 1 節 スタンプツール

この章では、写真の修整に使用するツールを学習します。

第 1 項 コピースタンプツール

この項の学習目標

- [コピースタンプツール]を使った画像の修復方法を理解する。

コピースタンプツールについて

[コピースタンプツール]とは、**画像の一部をサンプルポイントとしてコピーし、他の箇所へペーストして適用**することのできるツールです。写真のキズやゴミを取り除くときなどに多く使われます。

[コピースタンプツール]を使用するには、[ツールパネル]から[コピースタンプツール]を選択します。



サンプルする画像の上で【Alt キー】【option キー】を押すと、マウスポインタの形状が変わりますので、その状態で、**クリックすることにより、サンプルポイントとしてコピー**されて設定されます。

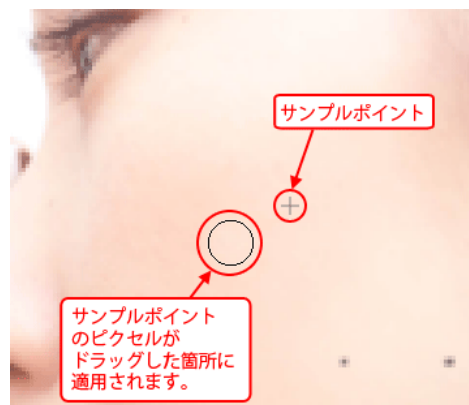
サンプルポイントとして設定した箇所に「+」マークが表示され、その「+」マークの箇所のピクセルが**ドラッグした箇所にペースト**されて、適用されます。

ワンポイント：サンプルポイント

[コピースタンプツール]は**サンプルポイント**のピクセルを、そのままドラッグした箇所にペーストします。

したがって、修整する部分の周囲と色がなじむよう、**サンプルポイントとして設定する箇所は、**

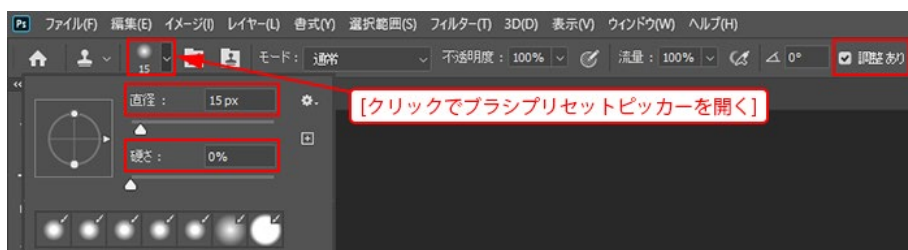
ドラッグして補正したい箇所に似ている部分を選ぶと、きれいに補正されます。



調整ありオプション

[コントロールパネル]では、[コピースタンプツール]の**[直径]**や**[硬さ]**などと、

[調整あり]チェックボックスを設定することができます



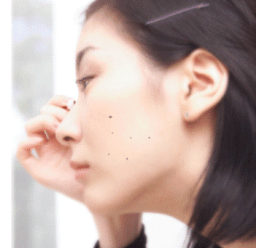
[調整あり]チェックボックスが**オン**の場合、**サンプルポイントからの位置関係がすべて記憶**されている状態です。画面内の大きなオブジェクトを複製する時などに便利です。

[調整あり]チェックボックスを**オフ**の場合、**どの場所でドラッグしても、サンプルポイントからコピー**されます。ストローク 1 回ごとにコピー元の画像が初めから描画されます。細かく修正したい部分を編集するとき、ブラシのような感覚で使用すると自然な仕上がりになります。

コピースタンプツールを使って写真の修整を行いましょ

素材フォルダ「PS06」から素材ファイル 6_1_1.psd を開きましょう。

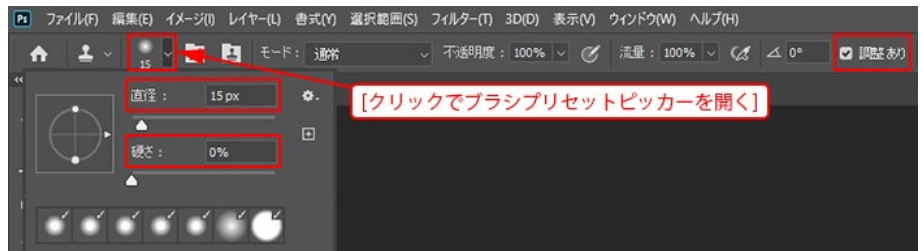
【コピースタンプツール】を使い、この女性の頬にあるホクロを消す補正を行います。



- (1) [ツールパネル]から【コピースタンプツール】を選択します。[コントロールパネル]でツールの詳細を設定します。

[クリックでブラシプリセットピッカーを開く]をクリックして、

【直径】を《15px》、【硬さ】を《0%》に設定し、[コントロールパネル]にて【調整あり】チェックボックスをオンにします。



- (2) ホクロのない肌部分から**サンプルポイント**としてコピーします。

サンプルする画像（肌）の上で【Alt キー】【option キー】を押すと、マウスポインタの形状が変わります。



- (3) そのままクリックします。

サンプルするポイントが記憶されます。

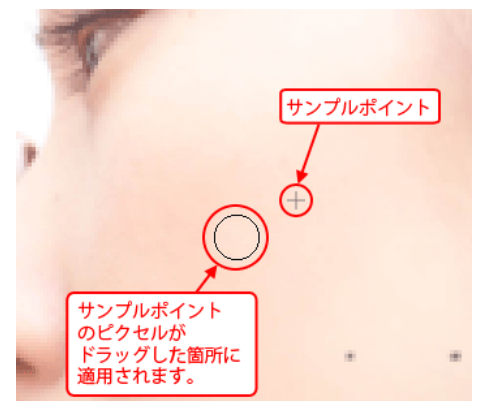


- (4) 先ほど、**サンプルポイント**としてコピーしたホクロのない肌部分を、ホクロの上にペーストして適用します。

ホクロのある部分をドラッグします。

サンプルポイントとして設定した箇所に「+」マークが表示され、その「+」マークの箇所のピクセルがドラッグした箇所に適用されます。

ホクロが消えたように補正できます。

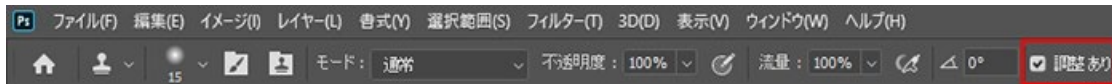


- (5) 操作が確認できたら、一旦[ヒストリーパネル]などでファイルを開いた状態に戻します。

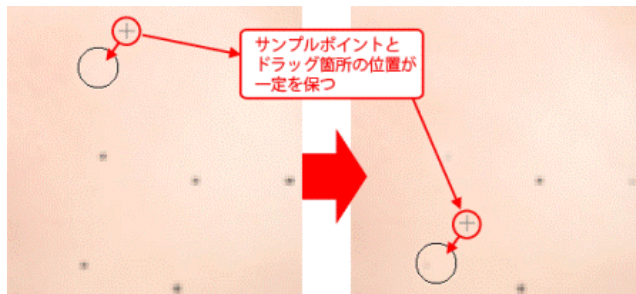
調整ありオプションを確認する

[コントロールパネル]の【調整あり】チェックボックスについて、確認しましょう。

- (1) [コピースタンプツール]の[直径]や[硬さ]の設定は変えずに、[コントロールパネル]にて[調整あり]チェックボックスが**オン**の状態ですンプルポイントを取得し、ホクロを消しましょう。
 その際、何度かドラッグして、サンプルポイントと、ドラッグ箇所の距離関係に注目しましょう。



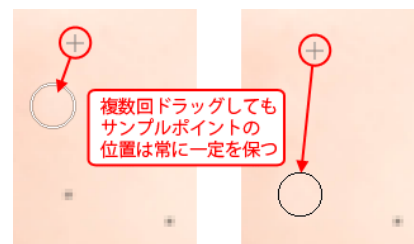
[調整あり]チェックボックスが**オン**の状態だと、サンプルポイントとドラッグ箇所との**距離関係が常に一定**を保ちます。



- (2) [ヒストリーパネル]などでファイルを開いた状態に戻しましょう。
 (3) 今度は、[調整あり]チェックボックスを**オフ**にした状態でサンプルポイントを取得し、ホクロを消しましょう。



[調整あり]チェックボックスを**オフ**にすると、繰り返しドラッグしても、サンプルポイントは**最初に設定した箇所に固定**されます。



常に一定の箇所にあるピクセルを取得する必要がある場合は
 [調整あり]チェックボックスを**オフ**にしておきましょう。

第2項 コピーソースパネル

この項の学習目標

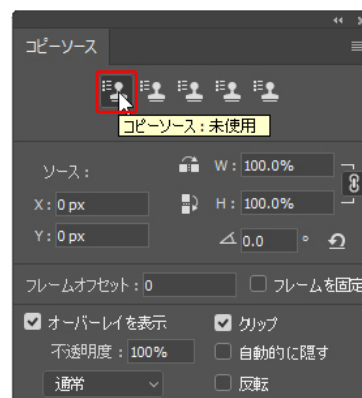
- [コピーソースパネル]を使った複数のサンプルポイントの操作方法を理解する。

コピーソースパネルについて

前項で学習した[コピースタンプツール]は、取得できるサンプルポイントは1か所のみでした。そのため、別のサンプルポイントからピクセルを取得する場合は、再度、サンプルポイントを取得し直す必要がありました。CS3 から搭載された[コピーソースパネル]を使用することで、最大 5 か所までサンプルポイントを取得し、必要に応じてサンプルポイントを使い分けることができます。

[コピーソースパネル]を使用するには、メニューバーの[ウィンドウ]-[コピーソース]を選択し表示させます。

[コピーソースパネル]の上部に並ぶ 5 つの[コピーソース]アイコンの任意の 1 つをクリックしてから、[コピースタンプツール]により、サンプルポイントを登録します。
 また、この登録したサンプルポイントを使用する場合は、登録した[コピーソース]アイコンをクリックしてから、[コピースタンプツール]にてドラッグして適用します。



コピーソースパネルのオプション

- **[オーバーレイを表示]**
オンにすることで「コピーソース」の画像を表示します。
- **[不透明度]**
[オーバーレイを表示]チェックボックスがオンの際に、設定することで「コピーソース」の画像を半透明の状態に表示します。
- **[クリップ]**
[オーバーレイを表示]チェックボックスがオンの際に、オンにすることで、[コピースタンプツール]の先の部分だけに「コピーソース」の画像を表示します。オフにすることで、元画像全体を表示します。
- **[オフセット]**
[オーバーレイを表示]チェックボックスがオンの際に、「コピーソース」の画像の位置を固定することができます。設定するには、[コピースタンプツール]の[コントロールパネル]にて[調整あり]チェックボックスをオンにします。

コピーソースパネルを使用しましょう

素材フォルダ「PS06」から素材ファイル

6_1_2_01.psd、

6_1_2_02.psd、

6_1_2_03.psd、

6_1_2_04.psd、

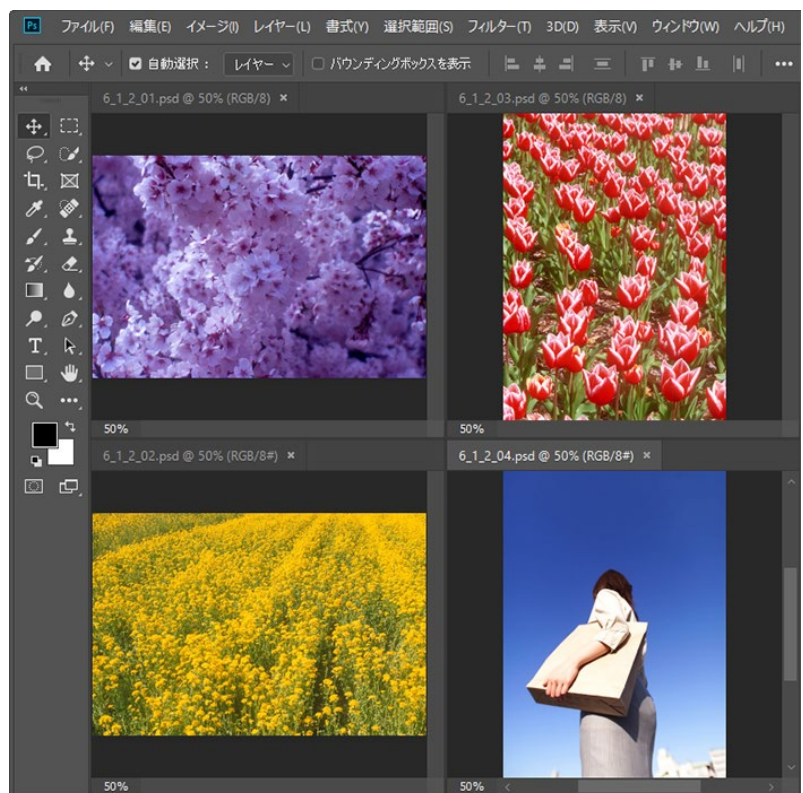
の4枚の写真を開きましょう。

他に開いているファイルがある場合は閉じましょう。

メニューバーの[ウィンドウ]-[アレンジ]-[並べて表示]を選択し、写真を4枚並べて表示します。

ワンポイント：並べて表示

[並べて表示]を選択すると、開いているファイルすべて並べて表示します。使用するファイル以外は閉じておくようにしましょう。



コピーソースを登録する

(1) [コピーソースパネル]を開きます。メニューバーの[ウィンドウ]-[コピーソース]を選択します。



(2) [ツールパネル]から[コピースタンプツール]を選択します。

[コントロールパネル]にて、[調整あり]チェックボックスをオフにしておきます。

